

令和6年度 庄原市研究主任研修会

令和6年6月19日（水） 庄原市総合体育館

「本市児童生徒の『主体的な学び』を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、児童生徒の資質・能力の向上を図ること」を目的に、研修会を行いました。

【講話・演習】「研究主任の役割」と「本質的な問い」による授業改善について

庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子



- 研究主任は、①研究推進計画の立案・実施・まとめ、②研究推進に係る連絡調整・体制づくりの大きく2つの役割がある。
- 演習では、昨年度の学習指導案や単元構想シートを3つの視点で振り返った。振り返った内容や、今後に向けた取組の実際について、グループで交流を行った。

【交流での意見等】

- ◆ 学習指導要領をもとにして「本質的な問い」を明確にすることで授業改善につながると学んだ。様々な教科における単元構想シートの活用の充実を図りたい。

【講話・実践発表・交流】「研究授業を中核とした授業改善サイクルの確立に向けて

～「学びの変革」チャレンジ加配事業の取組について～

庄原市立東小学校 教諭 香川 千枝・庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子



- 「学びの変革」チャレンジ加配事業の目的は、「学びの変革」の実現に向けて、これまでの取組の成果と課題を踏まえたカリキュラムの改善について、独自の取組目標と成果指標を定めて、主体的に取り組む、先進的、重点的な教育活動への挑戦を支援することである。
- 加配校である東小学校の、研究推進についての実践発表を行い、組織的な研究推進の在り方等について、交流を行った。

【参加者の感想等】

- ◆ 「個別の問い」を3種類に整理されている実践が参考になった。議論を位置付け、子供たちが議論したくなるような問いにされており、対話がしっかりできそうな授業づくりに役立つと思った。
- ◆ 東小学校の取組で、焦点化した模擬授業をされていて、授業者が教職員全体で考えたい場面を焦点化して取り組んでいたことは、授業の質の向上や深化につながると思ったので取り入れたいと感じた。
- ◆ 学びを「選択する場」と「振り返る場」や生活と結び付けた単元のゴール課題などを活用してみたい。
- ◆ 東小学校の授業研究改善力 UP シートのように、年間の取組を整理し、どのように研究を進めるのか、現状はどうかを教職員全体へ伝えることが大切だと思い、取り入れたいと思った。
- ◆ 校内授業研究会において、教職員に向けて問いが投げかけられていて、研修の目的が明確になっていてよいと思った。東小学校の実践発表を聞いて、本校の研究推進へのモチベーションが高まった。受講者として学びが大きかった。